

11月は、薬剤耐性（AMR）対策推進月間 薬剤耐性菌を増やさないためにできること

「薬剤耐性（AMR）」とは、感染症の原因となる細菌に抗菌薬・抗生物質が効かなくなることです。

かぜの原因はウイルスです。そのため、抗菌薬はかぜのときに飲んでも効果はありません。自己判断で飲んだり、医師の処方を守らないと、薬の効果がでないだけでなく、副作用が出たり、「薬剤耐性菌」が生じたり、感染症の治療や予防の妨げ

になることがあります。

啓発活動に取り組む薬剤師の中山茜さんによると「現在、薬剤耐性によって世界では年間127万人が死亡しています。抗菌薬を正しく理解し、正しい薬の飲み方をする事で死亡率が減少し、未来に使える薬を残すことにもつながります。私たち一人ひとりができることをしていきましょう」と呼びかけます。



▶薬剤耐性（AMR）予防の啓発に力を入れる「はなのゆ薬局」の薬剤師・中山茜さん

クイズに答えながら 薬剤耐性について学ぼう



左記の二次元コードから、AMR臨床リファレンスセンターのHPへアクセス！

薬剤耐性菌を増やさないためにできること

- ①不必要なときに抗菌薬を飲まない
- ②抗菌薬を処方されたらきちんと飲みましょう
- ③感染症を防ぎましょう

来局や薬の管理が困難な患者を訪問

吉野温泉建物内にあるはなのゆ薬局では、来局が困難な患者に医師の指示の下、薬を届けて服薬指導を行う「在宅訪問」も行っています。この日は、施設に入居している患者の薬を一包化し、お薬カレンダーに入れてお届け。「薬の管理をお任せしているので、薬の残量から受診のタイミングなどもLINEで教えてくれます。体が冷えるときの対処法や虫刺されによる市販薬の選び方なども気軽に相談できます」と所崎治代さん。毎週の訪問が健康相談の場になっているようです。



健康教室やSNSでの情報発信

温泉内のスペースで「健康教室」を開いたり、健康情報満載の「はなのゆ薬局通信」を配布するなど、患者や地域の人との交流を大切にしています。SNSでの情報発信やLINEでの健康相談も積極的。



◀施設に入居中の患者に薬を届ける薬剤師・中山茜さん

はなのゆ薬局

鹿児島市吉野 1-41-6
☎099・295・0400

在宅訪問
薬局